

## 「すべての人にやさしい木造庁舎」を設計する

～西都児湯森林管理署整備事業～

株式会社徳岡設計

谷本 卓也（経験年数16年）



実際の工事現場で材料のサンプルを確認しています。

設計段階で懸命に考えたことを、現場で作業される方々に伝えて理解して頂き、建物が出来上がることに達成感を感じます。

## ■私のやりがい

様々な人が利用する公共施設の設計では、建物を管理する方々の要望や多くの関係者の意見を汲み取りながら、設計者としての信念を持ってすべての人が満足する建築物としてまとめ上げていくことに、いつも難しさと同時にやりがいを感じています。

CLT工法を採用することは新たな挑戦でしたが、事例の調査・製造工場の視察などを通じて、様々な課題を解決しながら設計図面を作成しました。



設計段階のイメージ



実際の完成写真

採用する色や柄で空間の印象が大きく変わるので、素材の選定には慎重になります。施工する方々の努力もあり、設計段階のイメージ通りに出来上がりました。

## ■事業の特徴

この事業は、老朽化の解消及び、耐震性能の低い庁舎（森林管理署）を建て替える事業です。林野庁の施設ということで、新しい庁舎は木造建築とし、新たな木材需要の創出を意図して、国の庁舎として初めてCLTパネル工法を採用しています。

私は事業の中で、建物などの設計及び現場での設計意図伝達を担当しています。すべての人に優しい木造庁舎を目指して、庁舎内は誰もが利用しやすいよう段差が生じない計画としています。

また、隣接する神社の参道の景観に配慮し、美しい緑に映える均整のとれた屋根を基本としたデザインとしました。



今回の設計業務などを通じて優秀技術者として九州地方整備局から表彰して頂きました。

## ■オフの楽しみ

休日は家族と、各地の美術館などへ寄り道しながらのドライブをすることが多いです。設計の参考にもなりますが、何より自然豊かな景観をめぐることによって気持ちをリフレッシュして仕事に向かうことができます。

